第１７回　学生による政策論文　入賞者一覧

※年齢は 12/1 現在

最 優 秀 賞 :『ランナーズプレイス城山公園』

松山ビジネスカレッジ　総合デザイン学科

２年　越智（おち）　規行（のりゆき）　（男・３２歳）
２年　荒谷（あらたに）　美佑（みゆ）　（女・２０歳）
２年　今泉（いまいずみ）　友宏（ともひろ）　（男・２０歳）
２年　髙橋（たかはし）　健太朗（けんたろう）　（男・２３歳）
２年　能田（のうた）　晃佑（こうすけ）　（男・２０歳）
２年　山本（やまもと）　遥（はるか）　（女・２０歳）

論文の概要　「城山公園」を活用してランナーをサポートする施設整備を行い、ランニング・まち歩きを軸とした新たな観光産業や健康増進及び雇用創出のための活動拠点とする。

優　秀　賞 :『松山の学生と児童養護施設をつなげよう』

松山大学　経営学部　経営学科

３年　川澤（かわざわ）　太智（たいち）　（男・２２歳）
３年　梶谷（かじたに）　太希（たいき）　（男・２０歳）
３年　高橋（たかはし）　柚貴（ゆずき）　（女・２１歳）

論文の概要　松山市内の児童養護施設でのインターンシップの仕組みをつくり、広報活動を行う。福祉を専門として学んでいない学生にも体験してもらい、職業選択に生かしてもらう。

佳　　作 :『まつやま学生情報局！！～学生が伝える松山市の魅力～』

愛媛大学　法文学部　総合政策学科

３年　青木（あおき）　志帆（しほ）　（女・２１歳）
３年　安井（やすい）　祐希（ゆき）　（女・２２歳）

論文の概要　シティプロモーション推進課の学生バージョンである「まつやま学生情報局」を設立し、学生・若者の視点に立った松山市の PR を行うことにより、多くの人に松山に愛着・親しみを持ってもらう。

アイデア賞 :『景観を学生が作る、ラッピング電車への取り組み』

松山大学　法学部　法学科

３年　渡部（わたなべ）　亜希実（あきみ）　（女・２１歳）

論文の概要　「IYOTETSU チャレンジプロジェクト」に学生が加わり、学生が乗ってみたいという視点でデザインしたラッピング電車を走らせることにより、学生らに親しみを持ってもらうとともに、観光客にも松山市の新たな一面を感じてもらう。